

**KORG**



# **KORG Legacy Collection シリーズ インストール/セットアップ・ガイド**

### ご注意

- ・ 本製品のソフトウェアの著作権は、すべて(株)コルグが所有しています。
- ・ 本製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこの使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたこととなります。
- ・ ソフトウェア・シンセサイザーをリアルタイムに演奏するためには、レイテンシーの小さいオーディオ・インターフェイスを使用する必要があります。
- ・ プラグインとして使用する場合は、VST、Audio Units、RTASのいずれかに対応したホスト・アプリケーションが必要です。
- ・ 本製品のソフトウェアには、コピー・プロテクトが導入されています。本製品をご使用いただくためには、インターネットに接続可能な、USBポートを装備したコンピューターが必要です。
- ・ USBキーを破損した場合の修復は有償となります。取扱いについては十分にご注意ください。
- ・ USBキーの紛失/盗難については、一切保証することはできません。新たに商品をご購入いただくこととなりますので、大切に管理してください。

本製品はアールテクニカ有限会社のCONSOLEの技術を利用しています。

- ・ Mac、MacロゴおよびAudio Unitsロゴは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- ・ Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- ・ VSTおよびASIOは、Steinberg Media Technologies GmbHの商標です。
- ・ RTASは、Avid Technology, Inc.およびその関連会社、ディビジョンの登録商標です。
- ・ MIDIは社団法人音楽電子事業協会 (AMEI)の登録商標です。
- ・ その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

# Windows XPへのインストール

Windows XPへのインストールは以下の手順で行います。

- 1 ご使用になる製品のインストーラー(zipファイル)をダウンロードして解凍後、Setupをダブルクリックし、表示される指示に従ってインストールを行ってください。
  - 2 USBキーをUSBポートに接続してください。  
通常、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されますので、「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択して[次へ]をクリックしてください。  
USBキーのインストールが完了したら、「完了」をクリックしてウィザードを閉じます。
-  この作業は、USBキーを異なるUSBポートに接続する度に行う必要があります。
- 3 タスクバーの[スタート]、[すべてのプログラム]を順にクリックし、メニューの中から「Syncrosoft」→「License Control Center」を選択してください。
  - 4 License Control Centerが起動しますので、「Wizards」メニューから「License Download」を選択してください。  
表示される画面の[Next]をクリックします。

- 5 「Enter Activation Code」の画面が表示されますので、取得したアクティベーション・コードを“Activation Code”欄に正確に入力し、[Enter]をクリックしてください。  
正しいコードが入力されなかった場合、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして再度コードを入力してください。



-  一度使用したアクティベーション・コードは、再度使用することはできません。

- 6 正しいコードが入力されると右の画面が表示されますので、[License]の中に、ご使用になる製品のソフトウェア名が表示されることを確認して[Next]をクリックしてください。



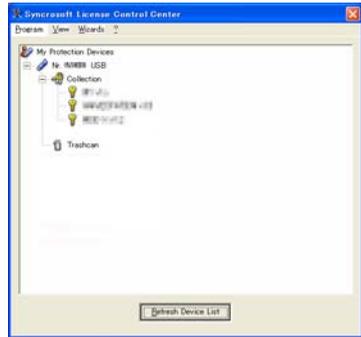
## インストール/セットアップ・ガイド

---

- 7 「Download License」の画面が表示されますので、[Start]をクリックしてください。  
USBキーにライセンス情報がダウンロードされます。完了するまで、しばらくお待ちください。  
ライセンス情報が正常にダウンロードされると、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

- 8 最後に[Finish]をクリックすると、インストールの完了です。

表示される画面に、ご使用になる製品のソフトウェア名が表示されることを確認した後、License Control Centerを終了してください。



# Mac OS Xへのインストール

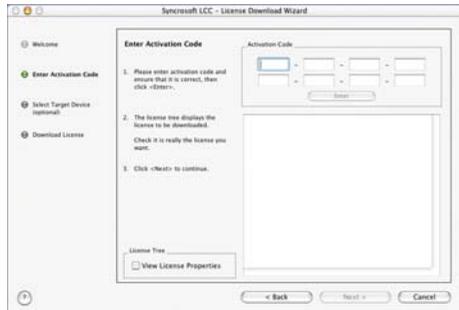
Mac OS Xへのインストールは以下の手順で行います。

- 1 ご使用になる製品のインストーラー（dmgファイル）をダウンロード後、ダブルクリックして表示される指示に従ってインストールを行ってください。
- 2 USBキーをUSBポートに接続してください。
- 3 「アプリケーション」フォルダの中の「License Control Center」をダブルクリックしてください。
- 4 License Control Centerが起動しますので、「Wizards」メニューから「License Download」を選択してください。  
表示される画面の[Next]をクリックします。

- 5 「Enter Activation Code」の画面が表示されますので、取得したアクティベーション・コードを「Activation Code」欄に正確に入力し、[Enter]をクリックしてください。  
正しいコードが入力されなかった場合、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして再度コードを入力してください。

 一度使用したアクティベーション・コードは、再度使用することはできません。

- 6 正しいコードが入力されると右の画面が表示されますので、[License]の中に、ご使用になる製品のソフトウェア名が表示されることを確認して[Next]をクリックしてください。



## インストール/セットアップ・ガイド

---

- 7 「Download License」の画面が表示されますので、[Start]をクリックしてください。  
USBキーにライセンス情報がダウンロードされます。完了するまで、しばらくお待ちください。  
ライセンス情報が正常にダウンロードされると、その旨を示すダイアログが表示されますので、[OK]をクリックしてください。

- 8 最後に[Finish]をクリックすると、インストールの完了です。  
表示される画面に、ご使用になる製品のソフトウェア名が表示されることを確認した後、License Control Centerを終了してください。



## USBキーに関する注意事項

- USBキーを接続しても、ご使用になる製品のソフトウェアが起動しない場合、以下をご確認ください。
  - ・ USBハブをご使用の場合、コンピューター本体のUSBポートに直接接続して動作を確認してください。また、接続されているUSBデバイスをすべて外してUSBキーのみで動作を確認してください。
  - ・ USBキーの最新ドライバをインストールしてください。USBキーの最新ドライバは、<http://www.syncrosoft.com/downloads> からダウンロードすることができます。
- USBキーを破損した場合の修復は有償となります。取扱いについては十分にご注意ください。
- USB規格で定められている5V以上の電圧を出力するUSBポートやUSBハブには接続しないでください。電源供給型のUSBハブをご使用の場合、ACアダプターを間違えるとUSBキーが破損するおそれがあります。また、Macの場合、Appleディスプレイの背面のUSBポートは過電圧が供給されることがありますので、USBキーの接続は避けてください。
- USBキーの紛失/盗難については、一切保証することはできません。新たに商品をご購入いただくこととなりますので、大切に管理してください。

## ユーザー専用ホーム・ページ

本製品のユーザーになられたお客様は、ユーザー専用ホーム・ページにアクセスすることができます。ユーザー専用ホーム・ページKORG USER NETでは、バージョンアップ・データやプログラム・データのダウンロード等が行えます。

### ユーザー専用ホーム・ページへのアクセス

- 1 Webブラウザを起動してアドレス欄に“<http://www.korguser.net>”と入力し、インターネットに接続してください。
- 2 ユーザー専用ホーム・ページのログイン画面が表示されますので、登録したEメール・アドレスとパスワードを入力してください。  
**Note:** 万が一、登録したパスワードを忘れてしまった場合は、[パスワードを忘れた場合]をクリックしてください。登録したパスワードを確認することができます。

入力が完了したら、目的に応じて、右側の項目のいずれかをクリックしてください。

ログインが完了すると、選択した項目のページが表示されます。各ページで表示される案内に従って操作してください。

# セットアップ

ソフトウェアのインストール後にスタンドアローン版を起動し、動作させるための環境設定について説明します。

## スタンドアローン版の起動

- 1 外部MIDIデバイスとコンピューターが正しく接続されていることを確認します。
- 2 USBキーをコンピューターのUSB端子に接続します。
- 3 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあるソフトウェア・シンセサイザーのアイコンをダブルクリックして起動します。

### Windows

KORG Legacy フォルダは Windows XP ではインストール時に選択した場所にあります。デフォルトでは「Program Files」フォルダ - 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあります。また、タスクバーの「スタート」ボタン、[すべてのプログラム]を順にクリックし、メニューの中から「KORG」-「KORG Legacy」から選択しても起動できます。

### Mac

「アプリケーション」フォルダ - 「KORG」フォルダ - 「KORG Legacy」フォルダの中にあるソフトウェア・シンセサイザーのアイコンをダブルクリックして起動します。

- 4 システム・メニューから「環境設定」を選択します。  
環境設定ダイアログの「オーディオの設定」が表示されます。「MIDIの設定」が表示された場合は、「オーディオの設定」タブをクリックします。  
**Note:** 初回起動時、何らかの原因で環境設定がクリアされた場合やコンピューターのシステム構成が変更された場合は、起動時に環境設定ダイアログが自動的に表示されます。

## オーディオの設定

- 1 「デバイスの種類」または「デバイス」で、オーディオ・ドライバを選択します。

### Windows

**ASIO:** ASIOドライバを使用します。ASIOドライバでは、レイテンシーを小さく抑えることが可能なので、一番良いパフォーマンスで動作します。ASIOドライバがインストールされている場合は、この設定をおすすめします。

**DirectSound:** DirectSoundを使用します。ASIOドライバがコンピューターにインストールされていない場合は、この設定を使用してください。

**MME:** MME (Multi Media Extension)を使用します。



MMEは、他の設定に比べてレイテンシーが大きいので、MME以外の設定にすることをおすすめします。

### Mac

お使いのコンピューターにオーディオ・インターフェイスがインストールされている場合は、そのオーディオ・インターフェイスのドライバが選択できます。オーディオ・インターフェイスがインストールされていない場合、選択できる設定は「内蔵オーディオ」のみです。

## 2 オーディオ出力を設定します。

### Windows

#### “デバイスの種類”でASIOを選んだ場合



ご使用のコンピューターにASIOドライバがインストールされていない場合は、選択できません。無効となります。

- ・“ドライバ名”： 使用するドライバ(デバイス)を選択します。
- ・“サンプリングレート”： サンプリング・レートを設定します。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定範囲が異なります。
- ・“出力チャンネル”： 出力チャンネルを設定します。かならず1-2、3-4といったペアでの設定になります。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。
- ・“クロックソース”： オーディオのクロック・ソースを選択します。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。
- ・“ASIO設定パネル”： クリックすると、ASIOドライバの設定パネルが開きます。仕様や動作は、使用しているドライバにより異なります。詳しくは、使用しているオーディオ・インターフェイスの取扱説明書を参照してください。

#### “デバイスの種類”でDirectSoundまたはMMEを選んだ場合

- ・“入力ドライバ名”： ドライバ(デバイス)を選択します。同じドライバが複数表示される場合があります。どれか一つを選択してください。
- ・“ビット/レート/チャンネル”： オーディオ・フォーマットを選択します。“入力ドライバ名”で選択したデバイスによって設定範囲が異なります。
- ・“バッファ数”： オーディオ処理のバッファ数を設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。
- ・“サンプル数”： 1つのバッファのサンプル数を設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。

**Note:** MS-20では“入力チャンネル”が表示され、入力するチャンネルを設定します。かならず1-2、3-4といったペアでの設定になります。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。

### Mac

- ・“ビット数/レート/チャンネル”： オーディオ・フォーマットを選択します。“デバイス”の選択によって設定範囲が異なります。
- ・“チャンネル”： “内蔵オーディオ”にした場合、選択できる設定はOutput 1 / Output 2のみです。お使いのコンピューターにオーディオ・インターフェイスがインストールされている場合は、他の設定が選択できます。
- ・“バッファサイズ”： オーディオ処理のバッファ・サイズを設定します。大きい値を設定した方が動作は安定しますが、レイテンシーが大きくなります。
- ・“レイテンシー”： レイテンシーが表示されます。“バッファサイズ”の設定によりレイテンシーが変わります。

**Note:** レイテンシーとは、コンピューターがノート・オン・メッセージを受信して、発音するまでの時間をいいます。レイテンシーは、サンプル数×バッファ数で決まります。この数値ができるだけ小さく、かつ安定して動作するように“バッファ数”と“サンプル数”を設定してください。“レイテンシー”の値は、バッファ・サイズで決まります。この値をできるだけ小さく、かつ動作が安定するように“バッファサイズ”を設定してください。

**Note:** オーディオ・インターフェイスの設定等については、オーディオ・インターフェイスの取扱説明書を参照してください。

**Note:** MS-20では“入力チャンネル”が表示され、入力するチャンネルを設定します。かならず1-2、3-4といったペアでの設定になります。“ドライバ名”で選択したデバイスによって設定が異なります。

## MIDIの設定

- 1 “MIDIの設定”タブをクリックします。  
各MIDIポートの設定が表示されます。
- 2 MIDI INデバイス1、2、3の各ポートで使用するデバイスを選択します。  
MIDI INデバイスは3つまで同時に扱うことが可能です。通常、これらのデバイスからの入力は、すべてマージされて扱われます。また、複数のポートを持ったデバイスが接続されている場合、同じデバイスのポートが複数表示されることがあります。
- 3 “クロックマスター”でMIDIクロックのマスターに使用するデバイスを選択します。  
ここで選択したデバイスのMIDIクロックに同期します。デバイスを選択しない場合は、常にインターナル・クロックの動作となります。



各ポート設定に選択したいデバイスが表示されない場合は、以下のことを確認してください。

**Win:** 接続しているMIDIデバイスのドライバがインストールされていますか？

**Win:** コンピューターのコントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイス」に、接続したMIDIデバイスが認識されていますか？

**Mac:** アプリケーション・フォルダ→ユーティリティ→“Audio MIDI設定”の“MIDI装置”タブ・ページに、接続したMIDIデバイスが認識されていますか？

## その他の設定

- 1 “その他”タブをクリックします。  
操作（ノブ操作）と自動停止の設定が表示されます。
- 2 操作の“ノブ操作”で、ノブの操作方法を設定します。  
**回転:** マウスのポインタをノブの指標（値を示すマーク）に移動し、ノブを回すようにドラッグすることで値が変更できます。また、設定したい値の位置をクリックすると、即座にその値に変更できます。  
**相対的に回転:** ノブの任意の位置を回すようにドラッグすることで値を変更できます。回転のようにクリックして値を変更することはできません。  
**直線:** ノブをクリックして上下にドラッグすることで値を変更できます。
- 3 “自動停止の設定”で、自動停止機能を設定します。  
自動停止機能は、コンピューターのCPUの負荷によって自動的にオーディオを停止する機能です。（「システム」メニューの中にある“オーディオ停止”を実行したときと同じ動作です）  
自動停止機能を使用する場合は、“自動停止を有効にする”をチェックして、“負荷の割合の設定”で負荷のスレッシュホールドを設定します。動作中にCPUの負荷がスレッシュホールドを超えた場合にオーディオが停止します。自動停止機能によってオーディオが停止した場合は、「システム」メニューの「オーディオ再生」を選びます。再びオーディオが再生されます。

-  頻繁にオーディオが停止するような場合は、同時発音数を減らすなどしてCPUの負荷を軽くしてください。
-  自動停止機能を使用しない場合、可能な限りオーディオを再生し続けようとしても、使用しているハードウェアによっては、オーディオの負荷が高くなったときにマウスの操作ができなくなるなどの不具合が発生します。

**4** “OK” をクリックして環境設定を終了します。

# サポート・サービスのご案内

本製品に関するご質問につきましては、下記の「お客様相談窓口」までご連絡ください。

尚、サポート・サービスを受けるためには、本製品の登録を完了している必要があります。ご連絡の際、これらの登録が確認できない場合は、サポート・サービスをご提供できません。

### ご連絡の際に必要な情報

ご連絡の際、以下の情報が必要になります。これらの情報が確認できない場合、サポート・サービスをご提供できませんので、必ずご提示ください。

- お名前とEメール・アドレス (KORG USER NET で登録したものがが必要です。)
- 本製品のProduct Code
- 製品名とバージョン (ソフトウェアのAbout画面でご確認いただけます。)
- ご使用環境  
コンピューターのメーカー名と機種名:  
CPUの種類とクロック:  
搭載メモリ容量:  
搭載ハードディスクの総容量と空き容量:  
OSの種類とバージョン:  
オーディオ・インターフェイスの製品名とドライバのバージョン:  
その他のコンピューター周辺機器:
- ご質問内容 (できるだけ詳細をお願いします。)



ご連絡の前に、本製品の「取扱説明書」と「ユーザー専用ホームページのFAQ」に、ご質問内容に対する回答がないかご確認ください。



コンピューターの基本的な操作方法、音楽制作にコンピューターを使用するための基本的なセットアップ方法、曲や音色の作成方法、当社製品以外の製品に関するご質問については、お答えできません。

### お客様相談窓口

- Eメールでのお問い合わせ: techsupport@korg.co.jp
- 電話でのお問い合わせ: 03-3799-9086  
(受付時間: 土・日・祝祭日および弊社規定の休日を除く AM10:00～12:00, PM1:00～5:00)
- FAXでのお問い合わせ: 03-3799-9087



電話でお問い合わせの際には、ご質問の製品が操作できる環境と、本製品の取扱説明書をご用意ください。



ご質問の内容やお客様の使用環境によって生じる問題などについては、回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

